

2025 神戸GCP  
UPLB農学英語コース概要

# 2025 神戸GCP「UPLB農学英語コース」概要

本コースはフィリピン大学ロスバニョス校（UPLB）に3週間滞在し、生きた英語を学びながら異文化理解を深める農学部主催の海外派遣プログラムです。

- ・ 対象学年：農学部1年・2年
- ・ 定員：農15名 +  $\alpha$  さらに理学部から5名程度(最大30名)
- ・ 事前学修、海外研修プログラム(現地研修)、帰国後の事後学修を修了することで、以下の単位を取得できます。

## 【総合教養科目】

グローバルチャレンジ実習（神戸GCP：UPLB農学英語コース） 2単位

## \*グローバルチャレンジプログラム(GCP)とは？

神戸大の特色を活かした選りすぐりの国や大学等に足を運ぶことで、国内での学びからは得がたい体験・発見を通じた、広い視野、深い教養、高い専門性を身につけた人材の育成を目標としています。

## 本コースの特長

- (1) 神戸大学の正規プログラムです（単位付与、教員と一緒に滞在）
- (2) 研修先のUPLBキャンパス内のホテルに一室2～3名で滞在
- (3) アクティブラーニングで英会話/プレゼン力が上がります（個別の成績評価、修了書あり）
- (4) 学年、学部、学科を超えて寝食ともにした友人、仲間ができます
- (5) UPLB 選抜学生(Facilitator / Student Guardian)と交流しながら英語実践力が向上できます
- (6) 授業のほか、植物園、ラボ、国際イネ研究所(IRRI)、博物館、歴史建造物、市場を見学し、フィリピンの自然、科学、文化、歴史、生活を体感できます
- (7) 神戸大学から一部費用の支援制度あり（予定、要件を満たした場合）

## 履修登録～現地研修～帰国までのスケジュール

- 10月上旬にプログラム説明会、受講申請、月内に受講者決定  
(先着順、2年生優先)

\*注意点：申請時に2026年10月以降まで有効なパスポートを保有していること  
(フィリピン入国時に、パスポートの残存期間が6か月以上必要なため)  
海外初めての方は9月上旬までにパスポート申請しないと申請に間に合いません。

- 11月に航空券購入
- 11月下旬から2月出国までに事前学修会4回（各回約4時間）
- 2026年2月21日～3月14日現地研修（神戸大学教員が全日帯同）
- 帰国約一週間後、事後学修会1回（約4時間）

## 事前学修会

- 参加者同士が学年、学部・学科を超えて知り合う
- 過去のプログラム参加学生と歓談しながら情報収集
- フィリピンの歴史、文化、経済、教育、生活、フィリピン大学ロスバニョス校（UPLB）と周辺について各4-5人グループで調べてプレゼンテーション
- 現地で役立つタガログ語の初歩

◆ 海外旅行における危機管理学修（必修）

まずは10月の  
プログラム説明会にご参加  
ください！

説明会日時は9月にお知らせします。

**【お問い合わせ】**

農学部教務学生係  
ans-kyomu@office.kobe-u.ac.jp  
078-803-5928

